

知りたいこと 望むこと

6人の議員が一般質問

福祉バスの早期運行を

町長 — 早期の実現をめざします



香原 暉 議員

質問 いつから運行する予定ですか。

町長 循環バス導入検討委員会より、現行の総合福祉センター行きバス4路線を6路線に変更し、5カ所の公共施設で乗降できる福祉バスの運行をとの提言を受けています。今後、内部協議を進め、早期の実現をめざします。

質問 現在の進捗よく状況はどうなっていますか。

町長 今後バス及び運転

皆さんの要望があれば、
鞍手郵便局に停車することも可能です。

手を増やすための財源、タクシー業者への影響、運営形態などを解決していきます。

質問 料金を多少払ってでも早く実施して欲しいという要望がありますが。

町長 有料にすると関係機関、特に運輸局の許可を得るのに時間がかかりますが、無料であれば、町独自の判断で運行することができそうです。

質問 停車する公共施設の中に郵便局を加えて欲しいという要望があるが。

町長 検討委員会の提言では、役場、町立病院、中央公民館、JR鞍手駅、福祉センターの5カ所となっています。



現在運行している福祉バス

町長使用の公用車は廃止すべきではないか

質問 年間どれくらいの費用がかかっているのですか。また、他の方法では、いくらかかりますか。

町長 現在の公用車は、平成5年に購入したものです。

平成18年度の年間所要経費は、284万8386円、タクシー料金に換算

した場合、227万円です。これには待ち時間加算料金は含んでいません。

質問 誰がどのくらいの頻度で利用しているのですか。

町長 年間の利用日数は、町長131日、副町長16日、議長24日、教育長1日、他6日、延べ178日、月平均13日です。

質問 すでに他市町村では廃止の方向に向かっていきます。

行財政改革をやるなら、本町も廃止すべきではないですか。

町長 庁用車は、重要かつ緊急な公務遂行のとき、町の社交儀礼に必要なとき、町長が特に必要と認めたときに使用します。今後買い替えのときには、予算が要りますから議会とも事前打ち合わせが必要です。

町民のことを考えた 後期高齢者医療制度に

町長―広域連合の条例などの 制定を待って実施します



宇田川 亮 議員

質問 福岡県が一人当たりの医療費が全国一高いので、保険料についても全国の平均を上回ることを予想されます。

質問 福岡県が一人当たりの医療費が全国一高いので、保険料についても全国の平均を上回ることを予想されます。

質問 この制度は、来年4月から施行されるようになっていますが、福岡県で予想されている保険料と、その基礎となる算定式を教えてください。

質問 この制度は、来年4月から施行されるようになっていますが、福岡県で予想されている保険料と、その基礎となる算定式を教えてください。

保険課長 保険料は、介護保険と同様に被保険者一人一人に対して賦課徴収しますが、条例などがまだ制定されていませんので、現時点ではお答えできません。

保険料の算定方法は、均等割額と所得割額の合計になります。

方の人数と徴収方法を教えてください。

税務課長 後期高齢者医療対象者2308人中、平成18年度の申告資料では、99人です。

徴収方法は、納付書で納めていただくこととなります。

質問 保険料を払えない方が多く予想されますが、保険証の取り上げは絶対にやめて欲しいが。

質問 保険料を払えない方が多く予想されますが、保険証の取り上げは絶対にやめて欲しいが。

町長 広域連合としても理解はしていますが、徴収するという基本的な考えは変わっていません。

質問 広域連合議会には、全市町村から議員を出すことができず、地域の声が届きません。

広域連合の民主的運営を図るためには、すべての市町村から議員を出すようにすべきと思いますが。

保険課長 当初の2年間はすべての市町村が参加意識を持って、新しい制度を理解し、円滑に運営

ゴミ袋の値下げの 検討を

質問 宮若市では、ゴミ袋料金の値下げの検討がされていますが、同じ一部事務組合で料金に差を設けるべきではないと思いますか。

住民課長 一部事務組合では、料金は統一としています。

また、宮若市長は、10円値下げの話はあるが、一部事務組合を尊重して、話を進めるとしています。



現在使用されているゴミ袋

脳血管疾患による障害者 への在宅支援の充実を

町長―実態調査の結果をも とに、検討します



岡崎 邦博 議員

52人です。

質問 152人ということですが、手帳を受けていない人もいると思いますので、これ以上に障害者を持っている人がいるのではと思われれます。

3月議会で私の言った障害者を持っている人たちが集まれる教室をつくったかどうかという提案に対して、検討させて欲しいと答弁しましたが、その後経過について、お答えをお願いします。

町長 このことについては、病院が本当に対応できるかどうか問題があります。

最終的には、在宅介護の17人の方の対応をしていく必要があるということとは分かっています。

そういうことを含めて事前調査を行っていきます。

質問 当町の障害福祉計画の中でも、集いの場としての教室の設置をという声が上がっています。

設置すれば、理学療法士にトレーニングのメニ

ユーを書いていたいただき、保健師や看護師に付いてもらって、月に一度でも機能回復の訓練ができると思います。

町長 在宅介護が必要な方17人の実態を調査し、その結果をもとに協議をしていきたいと思っています。

質問 半年経った時点で、あまり進んでいない答弁なので非常に残念です。

在宅介護の17人が対象と言っていますが、町の障害福祉計画でも増加傾向にあるとしています。障害を持った人は、生

きがいを見つけることによって、生活すべてが変わってくると思います。

行政として脳血管疾患により、リハビリが必要なの人の在宅支援として、新たな事業に取り組んでいただきたいが。

町長 3月からこれまで進んでいないと言われるが、決してそれを後退させているわけではありません。

病気は、多岐にわたっており、在宅支援についても今からやっていきます。



写真は、高次脳機能障害（脳外傷による後遺症）のため、自主運営で週1回総合福祉センターで機能回復訓練に励む神谷君と佐々木君です。

行財政改革の進ちよく状況は

町長 — 目標に向かって順調に進んでいます



毛利 喬 議員

質問 第4次鞍手町行財政改革集中改革プランの進捗状況はどのようになっていますか。

町長 平成21年度までの目標効果額14億円に対し、今年度末までの効果額を6億20万円、達成率を42・9%と見込んでいます。

質問 合併が破綻した後、5年間で25億円の財源不足が生じると聞いています。

で、これまでの縦割りの行政の弊害をなくしていきます。

これによって、住民サービスを下下させることはありません。

質問 職員の昇格資格試験制度の導入について、説明をお願いします。

副町長 当町は、人事評価の基準を設けていませんで、国が示した基準を基に評価基準をつくります。

将来課長職の登用についても採用を検討します。

土地開発公社（小牧用地）の利用は

質問 土地開発公社小牧用地は、現在どのようになっていますか。

町長 土地開発公社から町へ所有権を移転しました。現在総務人事課で管理をしています。

野球場などの施設は、進入路がないため使用できない状況です。

質問 今後小牧用地の利用をどのように考えていますか。

町長 今後、周辺にインターや遠賀川渡架橋が建設され、土地の付加価値も高まるのが考えられるので、状況を見据えながら、時間をかけて取り組んでいきます。

質問 小牧用地利用対策特別委員会（仮称）を立ち上げ、対策を講じる必要があると考えますが。

町長 大変重要な案件ですので、あらゆる状況を総合的に判断しながら、しかるべき時期に組織を立ち上げ、土地の処分・利用などを検討していきます。



国際電子整備学園

同和行政は終了する時期では

町長一運動団体と協議して解決を図りたい



松本 典子 議員

いません。

本町では平成13年に差別はがき事件がありました。全国的に見てもインターネットを悪用した差別事件が起っています。

当町は、平成8年にあらゆる差別の撤廃、人権擁護に関する条例を制定しています。

質問 鞍手町では、ここ数年同和差別事象はないに等しい状況です。部落解放同盟と協議をして、予算を削減して欲しい。

町長 補助金などについては、関係団体、運動団体と協議していきます。

質問 民間の1運動団体である部落解放同盟に年間360万8千円の補助金を出していますが、なぜですか。

町長 人は同和問題がすべて解決したとは思って

ためです。

隣保館設置条例は国の運営要綱にそぐわないのでは

質問 平成14年に隣保館の運営要綱が変わり、一般対策へと移りましたが、その時どのような説明をしましたか。

総務人権課長 その時の対応については、整理して書面で回答します。

質問 5年前に制定された国の新しい運営要綱が大きく変更されています。条例との整合性がないので、条例を改める必要があるのでは。

総務人権課長 隣保館運営審議会の中で見直していきます。

ゴミのストックヤードを全町的に

質問 資源の再利用を進めるうえで、ストックヤードの実施は効果があります。

ぜひ全町的に進めていただきたい。

住民課長 当町では、7月から毎週月曜日と木曜日の午前9時から12時まで、一般家庭から出る新聞、雑誌、ダンボール、布類、ペットボトルの回収を行っています。

質問 電話をかけないでも持ち込めるようにはなりませんか。

町長 職員体制がそこまでありませんので、持ち込みの際には電話を掛けていただくようになっていますが、今後検討します。

質問 プラスチック製の包装袋、いわゆる「プラ」の回収をはじめた市町村があります。本町もぜひ進めていたいただきたい。

住民課長 今後資源回収の方向で協議していきたいと思います。

小牧用地などの問題を協議する対策会議の立ち上げを

町長一インターなどの条件が整いしだい立ち上げます



星 正彦 議員

質問 昨年10月に公共用地利用対策会議を立ち上げ、5回の会議が開かれました。

町長 答申は尊重されますか。

質問 この会議は、土地開発公社が保有する土地を、総合的に検討、調整する機関として設置されました。

しかし実際は国際電子整備学園の問題だけを協議して解散しています。最初から基金の取り崩しが目的だったのですか。

副町長 公共用地利用対策会議は、土地開発公社が所有するすべての土地に関する問題を審議していただく会議でした。その中、国が再建団体に指定する指標として、土地開発公社などへの債務負担も含めて「連結決算」とする法律の改正案を国会に提出しようとしていました。

そうすると、本町も赤字再建団体となるのは目に見えています。それを防ぐために、最終的にかんがい基金を取り崩し、公社の利子負担を回避することの協議を行ってきました。

質問 小牧用地だけでなく、西牟田用地、宗春用地も含めて検討していく委員会、対策会議を設置していただきたいと思いますが。

町長 今後、インター、遠賀川渡架橋などの条件整備が整えば状況もかわりますので、その時点で会議を立ち上げたいと考えています。

質問 かんがい基金へ返済するためには、この小牧用地を処分しなければならぬと考えます。

町長 この土地は、中高層住宅専用地域で工業団地として処分はできませんので、造成し住宅団地としての処分もあると考えますが。

町長 町として財源がありませんので、今の時点で開発することは考えていません。

質問 インターができることによって、用途地域の見直しも必要になるのではないですか。

町長 小牧地区を含めた地域がメインとなりますので、用途地域の見直しも視野に入れ確実に作業を進めていきます。

県産炭地域活性化基金の内容は

質問 県産炭地域活性化基金が当町に1億9000万円配分されましたが、その事業計画はどのようになっていますか。

町長 交付対象の事業は、企業誘致、地域資源活用イベントや企画調査、土地の造成・施設の整備など8分野となっていますので、県の担当課と協議して、現在事業計画を提出しています。

質問 活性化基金の残りが25億円ありますが、これは広域的な振興事業に使うとしています。

当町はインターなどの事業がありますので、全力をあげて獲得しなければならぬと思います。

町長 現在、関係市町と協議をしています。今のところ具体的なものはありません。予算の獲得のため、精力的に頑張ります。

広島県三次市議会から来庁 当編集委員会を視察



議場で行われた視察研修会のようす

当議会だよりが、本年2月に全国町村議会議長会主催の全国コンクールで奨励賞を受賞したことにより、いくつかの市町から視察の申込みがあります。

平成19年8月20日には、広島県三次市議会広報編集委員会の委員(議員)8人・事務局2人、計10人が視察にみえました。

当町も編集委員全員が参加して対応し、日頃の編集作業などを説明、後に活発な意見交換を行い、1時間30分の研修を終えました。

また、11月7日には、熊本県芦北町議会広報編集委員会が視察にみえる予定です。

意見交換

研修会の中では、次の事柄について活発なやり取りを行いました。

1. 編集委員の選出・任期
2. 編集作業の分担
3. 編集会議
4. 発行に伴う経費
5. 事務局の事務分担
6. 発行状況
7. その他

当町議会広報編集委員会の基本

編集委員は、議長の委任のもとに全責任を持って担当しています。

ありのままに
住民とともに
わかりやすく
を基本に

1. 編集の自主性を確立する。
2. 議会情報の「完全公開」
3. ありのままの、公正、客観的な記事
4. 親しみやすい読者の立場に立った紙面づくり
5. 住民参加型の編集企画と記事